京都外国語大学ラテンアメリカ研究センター講演会

メソアメリカにおける生贄と供物：エスノヒストリー（民族史学）と民族学の連携（Sacrificios y ofrendas en Mesoamérica: cómo colaboran la etnohistoria y la etnología）

講師：ペリグ・ピトロウ（Perig Pitrou）氏

（フランス国立科学研究センター（CNRS）上級研究員）

この度京都外国語大学ラテンアメリカ研究センターでは、フランス国立科学研究センター（CNRS）上級研究員であるペリグ・ピトロウ（Perig Pitrou）教授の講演会を開催いたします。教授は「生命の人類学（Anthropology of Life）」を専門とされる著名な研究者です。メキシコの先住民共同体における生命と幸福の概念、および自然環境との関わりを研究するため、長期にわたる民族誌的調査を行ってこられました。今回は、メソアメリカ地域で広く行われてきた生贄などの様々な儀式を、神々に捧げられる供物に関する歴史文書、そしてメキシコのオアハカ地域に現在も住んでいるミヘの人々の共同体における民族誌的調査で得られた情報とを総合的に比較分析し、その意味を「生命の人類学」の観点から議論していただきます。なぜ、出産の儀式、種まきの儀式、そして癒しの儀式において同じ儀礼パターンが用いられるのだろうか？ なぜ、これらの儀礼の枠組みは数世紀にわたり安定して維持されてきたのか？ 本講演では、こうした問いへの答えを探っていただきます。「生命の人類学」がどのような視点を提供してくれるのか、これからの新しい研究へ向けての重要なヒントがそこに見出せるはずです。

ぜひご参加ください。

日時：2026 年 5 月 8 日（金）17 時 30 分～19 時 00 分

場所：京都外国語大学　4 号館 3 階　433 教室

使用言語：スペイン語（通訳なし）

開催形式：ハイブリッド（対面・オンライン）

※参加費無料／事前予約要

←こちらからお申し込みください。

https://forms.gle/PLaeiMXLcD4M957H7

主催：京都外国語大学ラテンアメリカ研究センター